

大腸内視鏡検査依頼書 兼 診療情報提供書

上福岡総合病院

ご依頼 医療機関名	
医師名	

ご依頼日	年	月	日
------	---	---	---

フリガナ				年齢	性別
患者様氏名				歳	☐ 男
生年月日	☐ 昭和 ☐ 平成 ☐ 令和	年	月		日
住 所			電話	-	-

ご予約日	年	月	日	8 時	30 分より
下記にレ点を入れてください					
検査目的	☐ 経過観察、定期検査 ☐ 便潜血陽性 ☐ 腫瘍マーカー高値 ☐ 便秘、下痢、腹部不快感 ☐ その他 ()				
既往歴	☐ 無 ☐ 心疾患、不整脈 ☐ 緑内障 ☐ 前立腺肥大 ☐ 糖尿病				
腹部の手術歴	☐ 無 ☐ 有 ()				
アレルギー	☐ 無 ☐ 有 ()				
鎮静希望	☐ 無 ☐ 有 ⇒ (☐ 初めから ☐ 痛かったら) …必ず付き添いの方とご来院ください				
現在の処方	☐ 無 ☐ 有 下記に記入またはFAXをしてください ()				
内視鏡後の フォロー方針	☐ 内視鏡検査のみ上福岡総合病院で施行し、検査説明や投薬は紹介元医療機関で行う ☐ 内視鏡検査後、結果説明や投薬も上福岡総合病院で行う ☐ その他 ()				

上部（経口・経鼻）および 下部消化管内視鏡検査説明・同意書

□ 上部消化管内視鏡検査（経口・経鼻）

上部消化管とは食道・胃・十二指腸を指します。上部消化管内視鏡検査では口または鼻から内視鏡を挿入してこれらの部位を一連の検査で観察し、病気の有無などについて診断します。内視鏡検査を安全に行うために、事前に採血によるB型肝炎、C型肝炎、梅毒などの感染症チェックやその他の必要な検査を行います。検査前より食事制限を行い、検査直前に胃内の泡を消す薬を内服します。次にキシロカインという局所麻酔薬でのどや鼻の麻酔を行い、胃の運動を止める薬（抗コリン薬など）を注射して検査開始となります。検査の所用時間は通常5-15分ほどですが、病気の有無、検査内容によって変わります。より精密な検査を行うために、検査中に色素を散布したり組織を採取して顕微鏡検査に提出する場合があります。

□ 下部消化管内視鏡検査

下部消化管内視鏡検査では肛門から内視鏡を挿入して、大腸（結腸と直腸）および小腸の一部を観察し病気の有無などについて診断します。内視鏡検査を安全に行うために、事前に採血によるB型肝炎、C型肝炎、梅毒などの感染症チェックやその他の必要な検査を行います。検査前より食事制限を行い、下剤を服用していただいて腸内をきれいにします。排便状態が充分でない場合には下剤や浣腸を追加することがあります。血管確保のための点滴を行い、腸の運動を止める薬（抗コリン薬など）を注射して検査開始となります。検査の所用時間は通常10-30分ほどですが、病気の有無、検査内容などによって変わります。より精密な検査を行うために、検査中に色素を散布したり、組織を採取して顕微鏡検査に提出する場合があります。途中で体の向きを変えたり、おなかを圧迫しながら内視鏡を進めますが、場合によってはレントゲンで内視鏡の位置を確認することもあります。腹腔内の癒着などにより検査中の苦痛が強い場合には、鎮静剤・鎮痛剤を使用することもあります。

<上部および下部消化管内視鏡検査における危険性、合併症など>

内視鏡検査は通常安全に施行されますが、ごく稀に偶発症が発生する場合があります。消化管出血や消化管損傷・穿孔などの可能性、薬剤アレルギー、下剤の服用による腸閉塞、その他予期せぬ偶発症が起こります。抗血栓剤を内服している場合は出血しやすい傾向があり、処置に際して薬の内服を一時的に中止する場合があります。その際には休薬に伴う血栓症発症のリスクが上がります。治療を要する合併症が発生した場合には、入院治療や緊急の処置・手術など、最善と判断される方法で対処いたします。日本消化器内視鏡学会によると、上部および下部内視鏡検査や治療に伴う偶発症の発生頻度は全国集計で約0.012%と報告されています。

<内視鏡検査に伴う注意事項>

- 検査予約時に、今までにかかった病気やアレルギーの有無、普段内服している薬などの情報を担当者に伝えて下さい。検査当日の常用薬の内服方法などは事前にご確認下さい。心疾患や緑内障、前立腺肥大の有無、下部内視鏡では肺気腫や慢性気管支炎などの慢性閉塞性肺疾患（COPD）の有無も伝えて下さい。心疾患や脳梗塞、血栓症などで血液を固まりづらくする薬（抗血栓剤など）を内服している場合は、事前に休薬して頂くことがあります。
- 検査時に色素を散布して観察した場合に尿や便が青くなる事がありますが、心配はいりません。
- 検査当日は車の運転や危険を伴う作業などを控えて下さい。また検査中組織を採取した場合、当日は刺激のある食事や飲酒、激しい運動や長時間入浴などは控えて下さい。
- 検査後の飲水、食事開始時間は検査終了後の指示に従って下さい。また検査後に喉の痛みやおなかの張り感、経鼻内視鏡の場合には鼻出血や鼻痛などを認めるかもしれませんが、通常数日以内に自然に改善します。稀に経鼻内視鏡検査後の鼻出血が止まらない場合、耳鼻科的な処置を必要とすることがあります。

- 経鼻内視鏡は経口内視鏡と比べ吐き気が少なく検査が行える反面、一部の精密検査には適さないこともあり、経口内視鏡での再検査が必要になることがあります。また鼻腔が狭く鼻から内視鏡を挿入できない場合は経口内視鏡へ変更することもあります。
- もし内視鏡検査終了後に、耐えがたい腹痛や大量の下血、黒い便などを認めた場合には当院にご連絡下さい。また何かご不明な点などがある場合にも遠慮無くご相談下さい。

□ 内視鏡検査時の鎮静剤・鎮痛剤使用に関して

内視鏡検査の際、検査中の安静のために鎮静が望ましい時や、検査に対して不安が強い方、検査中に強い苦痛を感じる方などに対して、不安や苦痛を軽減する目的で鎮静剤や鎮痛剤の静脈内投与を行う場合があります（とくに大腸内視鏡検査時）。鎮静剤・鎮痛剤投与に伴う偶発症は、健忘、吃逆、注射部位の炎症、血圧低下、徐脈、不整脈、呼吸抑制、呼吸停止、アレルギー反応、ショック状態などが報告されており、発生頻度は0.0013%とされています。薬剤が効いている間は動脈血酸素飽和度や血圧などの定期的な測定を行いながら状態を観察しますが、場合によっては緊急処置や入院治療を必要とすることがあります。

<鎮静剤・鎮痛剤使用時の注意事項>

- 鎮静剤・鎮痛剤の効果は個人差が大きく、薬剤投与後検査中に完全に眠っている場合や、眠くはなるけれど完全には眠らないで意識がある場合など、様々な状態となります。
- 検査終了後は鎮静剤の影響で眠気が残り、足元がふらついたり、呼吸が浅くなったりすることがありますので、経過観察のためにしばらくは病院内で休んで頂きます。検査当日はご家族など付き添いの方と一緒に来院して下さい。
- 検査当日、ご自身での運転(車・バイク・自転車等)や危険を伴う作業などはしないで下さい。万が一事故を起こしてしまった場合でも当院では責任を負いかねます。
- 妊娠・授乳中の方、高齢の方、心臓・肺・肝臓・腎臓などの機能が弱い方、緑内障の方、検査後に重大な判断を要する仕事がある方などには鎮静剤の使用ができない場合があります。
- 何かご不明な点などがありましたら遠慮無くご相談下さい。

医師署名



埼玉県ふじみ野市福岡931番地
医療法人誠壽会 上福岡総合病院
TEL 049-266-0111(代表)

同意書

私は内視鏡検査とそれに伴う処置の目的、必要性、その危険性の内容を理解しましたので、内視鏡検査を受けることに同意致します。

また検査中などに緊急の処置を行う必要がある場合には、適宜処置を受けることについても同意致します。

年 月 日

氏名 印

(ご本人が署名できない場合など)

親族または代理人

氏名 印 ご本人との続柄()

※同意書は6ヶ月間有効です。

同意内容に変更がある場合は職員へお申し出ください。

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

- ・ 検査日： 年 月 日 ()
- ・ 来院時間： 午前 8 時 30 分
- ・ 受付場所： 総合受付で受付後、内視鏡センターにお越しください

【当日の持ち物チェックリスト】

- ☐ 診察券・マイナンバーカードまたは資格確認証
- ☐ お薬手帳(現在服用中のお薬がある方)
- ☐ 防寒具(冷え性の方はひざ掛けや靴下など)
- ☐ 同意書の原本
- ☐ ペットボトルの水(2L 程度)※下剤服用時に必要です。水道水でも可

【当日の流れ:院内で下剤を服用される方】

1. 総合受付で受付後、午前 8 時 30 分に内視鏡センターにお越しください
2. 専用のスペースで数時間かけて下剤を服用し、腸をきれいにします
3. 看護師が便の状態を確認し、検査可能か判断します
4. 検査着に着替え、点滴を行います
5. 検査時間は通常 15 分～30 分程度です(基本午後からの検査のご案内となります)
6. 鎮静剤を使用した場合は、30分ほどベッドで休んでいただきます
7. 着替え後、会計をしていただきご帰宅となります

【鎮静剤を使用される方への注意事項】

1.付き添いの方の同伴が必要です

鎮静剤の影響でふらつきや判断力の低下が起こる可能性があるため、必ずご家族などの付き添いの方と一緒にご来院をお願いいたします

2. 当日の運転禁止 検査当日は、自動車・バイク・自転車の運転はお控えください

【その他・事前のご案内】

※今回の検査は、腸の中を観察するのみでポリープが見つかったとしてもその場で切除は行いません

- ・ 食事について：
検査数日前からの食事制限については*別紙「検査前の食事ガイド」*をご確認ください
- ・ キャンセル・遅刻： 当日の体調不良や遅れる場合には速やかに下記までご連絡ください
- ・ 薬について:検査当日、常用薬は朝 7 時にお飲みください。
糖尿病のお薬については、かかりつけ医にご相談してください。
便秘のある方は下剤の調整が必要な場合があります。事前にかかりつけ医へご相談ください

検査前の食事ガイド

～検査を安全・確実にを行うために～

確かな検査のためには前日の食事が重要です。

消化されにくいものを食べると検査に時間がかかったり、正確な診断ができない場合があります。

検査前日の食事は消化されにくいものを避け、19時までに済ませてください。

避けていただきたいもの



野菜



(種を食べるような)
果物



海藻



きのこ



豆類



五穀米・玄米



コーヒー
(色素が出ます)



青汁・スムージー・
野菜ジュース



牛乳

おすすめメニュー

朝食



食パン
(具なし)



蒸しパン
(具なし)



目玉焼き



ポタージュスープ
(具なし)



バナナ

昼食



素うどん



白米



卵焼き
(具なし)



スープ
(具なし)

おやつ



りんご
(皮・種なし)



クラッカー・クッキー



ゼリー
(具なし)



キャラメル
(具なし)

夕食



雑炊



焼き魚
(皮なし)



シチュー
(赤身肉)



豆腐
(薬味なし)



茶碗蒸し
(具なし)



味噌汁
(具なし)

飲み物



緑茶・烏龍茶・紅茶・麦茶



炭酸水

大腸内視鏡オープン検査のご案内

①地域医療連携室にご連絡ください

電話 049-278-1551

担当スタッフにお繋ぎしますので、予約日を決定してください

②患者さまに説明をお願いします

- ①『上部(経口・経鼻)および下部消化管内視鏡検査説明・同意書』をお渡しし、署名をいただいでください
※同意書はコピーをしていただき、患者さまに控えとしてお渡しください
原本は当院で保管しますので、検査依頼書と共に患者さまにお渡しください
- ②『大腸内視鏡検査を受けられる方へ』にそって説明し、用紙をお渡しください

※鎮静剤を使用し検査を希望される方には、必ず付き添いの方と来院してください

付き添いがいない場合は鎮静できないこともあります

※便秘のひどい方は排便コントロールをお願いします

③検査日が決まりましたら以下のものをFAXしてください

FAX 049-266-0150

- ①大腸内視鏡オープン検査依頼書 兼 診療情報提供書
- ②感染症(HBs抗原、HCV抗体、梅毒RPR, TP抗体)の検査データ
- ③同意書(下部に☑、鎮静に☑を入れてください)

④検査当日

午前8:30までに総合受付にご来院いただくようご案内ください

下剤を服用し、便が透明になったら検査可能となります

基本、午後からの検査のご案内となります

⑤結果報告

郵送またはFAXさせていただきます